

クリニックでの発達障害診断と療育の流れ

● 診断の流れ

- ① 乳幼児期からの詳細な発達歴聴取
- ② 園や学校での様子(担任からのレポート)
- ③ ADHDやASD関連のアンケート(チェックリストや自由記載)
- ④ 神経学的診察 ⑤ 発達テスト(WISCや田中ビネー)の実施
- ⑥ 学童以上は読み書き評価 ⑦ 本人の行動観察



- 保護者とともに報告書(診断書の元資料)づくり
- 保護者への診断説明

- ・ 発達障害のガイダンス(講義)
 - ・ 障害受容目的の個別セッション
- 
- 個別療育(ST・心理)

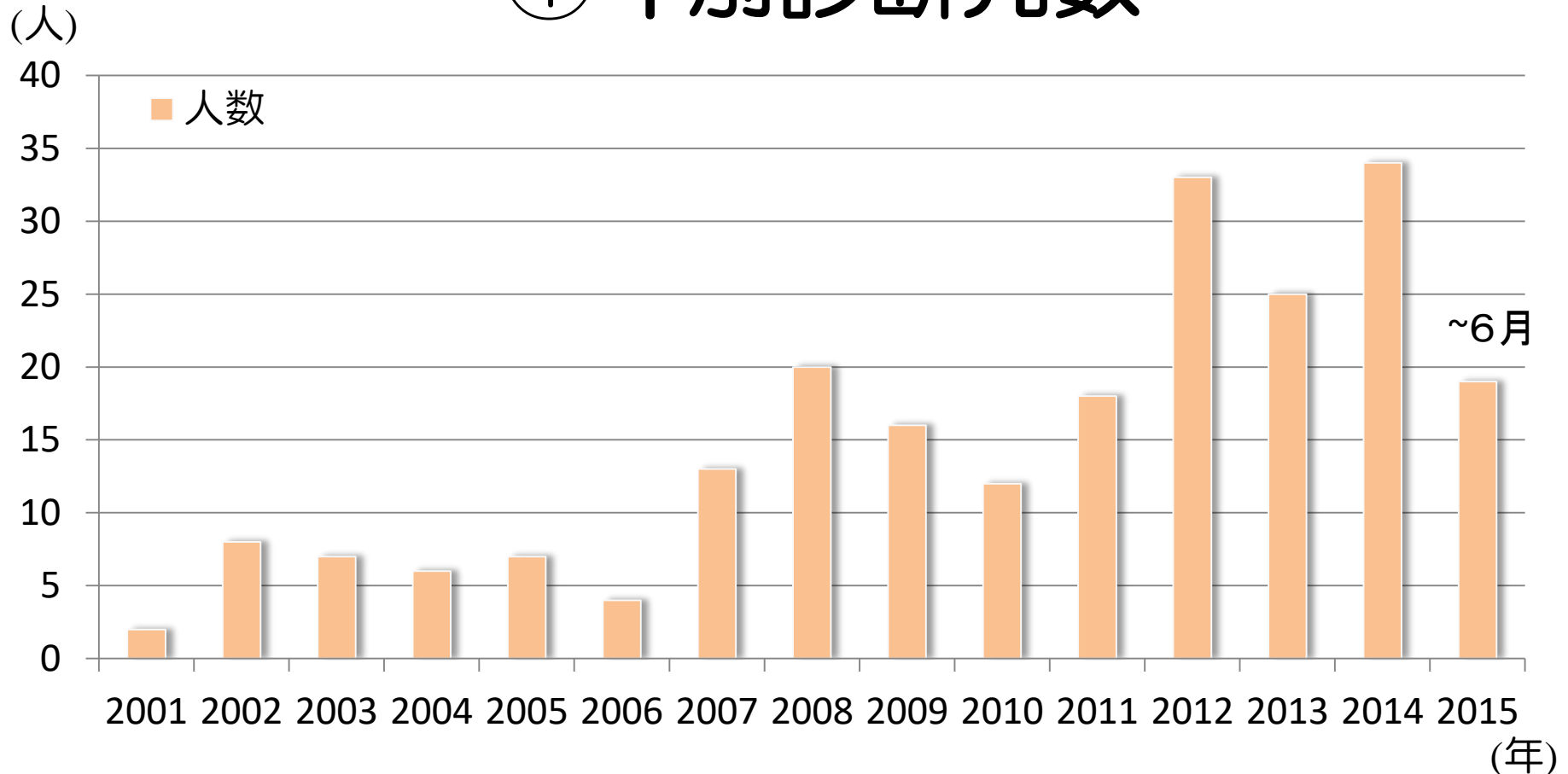
読み書きに問題がある児童：STによる読み書き精査

クリニックでの読み書き評価

- ① 読み書きに関する本人の困り感の聞き取り
- ② 担任のレポート
- ③ 読みの正確性と流暢性検査：稲垣ガイドライン
- ④ 小学生の読み書きスクリーニング検査（宇野）
- ⑤ 音韻認識検査：モーラ分解と抽出、音節削除課題
- ⑥ rapid automatized naming test (RAN 課題)
- ⑦ 視覚認知検査
複雑図形・フロスティック・ベントンなど
• Rey
- ⑧ 抽象語理解力検査
• PVT-R

これらを組み合わせ、DSM-IV-TRもしくはDSM-5に照らし合わせて診断を行う

-①年別診断児数-



- 診断児数は年を追うごとに増加傾向にある。
- 2010年にガイドラインが作成されてから、増加傾向にある。

読字障害224例のADHD・ASD併存について

DDの併存症		人数(人)	割合
併存症なし		23	10.3%
ADHD	ADDI(不注意優勢型)	28	12.5%
	ADDC(混合型)	28	12.5%
	ADHD疑い	23	10.3%
ASD		29	12.9%
ADHD	ADDI	23	10.3%
	ADDC +ASD	45	20.1%
	ADDC +ASD	93	41.5%
	ADDC +ASD	25	11.1%
合計		224	100%

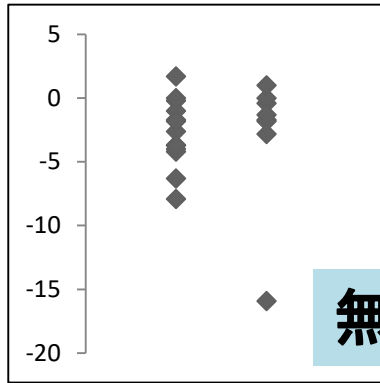
①併存症として多いのは ADHDであった。②ADHD+ASD併存例ではADDCが多い。③ASDのみの併存は多くないが、ASD+ADHD併存例は多い。

DDと診断された224例の背景因子

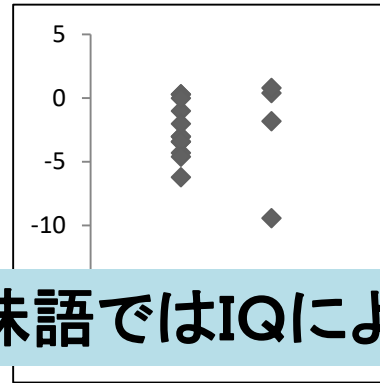
-③知的能力と読みの流暢性には相関なし-

無意味語速読

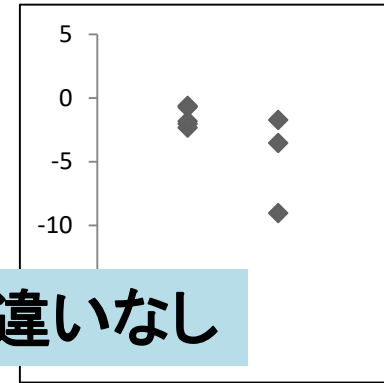
1・2年



3・4年

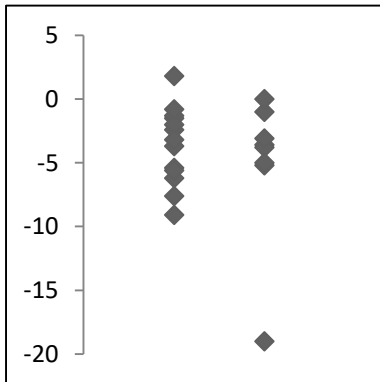


5・6年

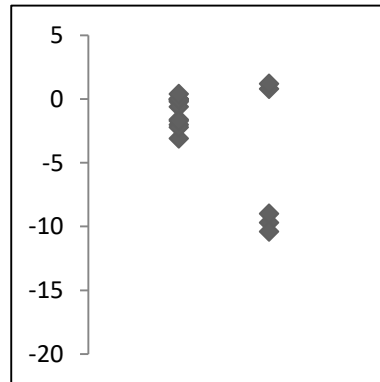


無意味語ではIQによる違いなし

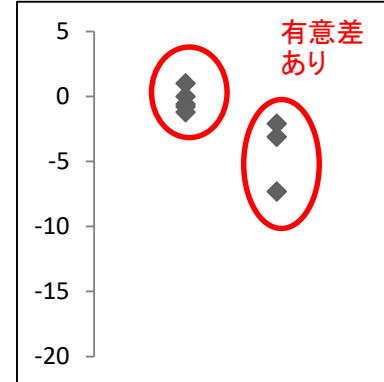
有意味語速読



Z得点 正常域IQ群 境界域IQ群



Z得点 正常域IQ群 境界域IQ群



Z得点 正常域IQ群 境界域IQ群

5・6年生: 稲垣式有意味語・単文音読課題の音読時間のみ、境界域IQ群が正常域IQ群に比べてz得点が有意に低下($p < 0.05$) 14DD会 山口ら

ADHD・ディスレクシア(読字障害)合併例

主訴:①読み書きが著しく苦手 ②集中力がない

話しことば:就学までの発達に特に問題なし

読み書き:文字への興味はなく、絵本の読み聞かせも最後まで着席して聞くことは出来なかった。

- ・平仮名は就学前には読めなかった。

2年生でも清音の一部、拗音、促音は書き間違える

- ・初見の文章の音読はたどたどしいが、数回読むと覚えているので読み誤りは少なくなる。

→朗読ができると担任は勘違いする。LDを見落とす

- ・「は」と「わ」を書き間違える。

- ・漢字は苦手。偏と旁が逆・線が足りない(多い)・当て字のように書く・送り仮名の誤りなど。ADHDの要素も関与MPH有効

例) 飲む→ 欠食 祭り→ 発 相手→ 手

記入欄

(平成²⁰19年1月から従来のリタリンからコンサータに変わりました。同じ成分ですが、持続時間も長くなり下校時間まで有効です。また投与量など調整する必要があります。しばらくの間、観察をお願いします)

児童名 (保護者で記入下さい) () 記入日:平成 (M) 年 (9) 月 (29) 日

④ 特に書字の変化に目を見張るものがありました。以前は、どこを間違っている

のかも分からない字がありました。書字の変化に目を見張るものがあります・・・記憶の定着も上がってき・・・
しかし今では、漢字の形も、記憶の定着も、少しずつ書けるようになってきました

点数が変わらなかったのに、今では少しずつ書けるようになってきました。

⑤ 以前は「ぼろ」としていることが多く、友だちを誘うときも何もしてない友だち

を誘っておしゃべりや遊びをすることが多かったです。しかし服用後、活発に動い

ている友だちにも、話運動場で運動会の音楽が鳴っているのに
と感ずることもあるが授業の黒板をみていたことには驚きました

① 運動場で運動会の音楽が鳴っているのに授業の黒板をみていたことには驚きました。

**コンサータ服用開始(8.31)1か月後(9.29)の
担任報告:書字・対人関係・注意集中に著しい効果**

ADHDを合併したディスレクシアに対する 医療・療育・特別支援教育の経過

- ①中枢刺激剤（コンサータ）が著効 **医療**
宿題をこなす時間が短縮、順序立てて話ができる、
書字がきれいになった、記憶の定着
- ②言語個別指導（詳細は略） **療育**
- ③LDとしての教室での特別な配慮 **教育**
- ④家族の理解と協力
- ⑤本人の努力：大変な頑張り屋さん
→読み書きの困難さは存続するが、学力全般
の伸びが著しい

書字・記憶などのADHDに因る問題点が中枢刺激剤で解決されている点も大きい

診断書：進路判定会議に学校長あてに提出

ディスレクシア＋ADHDのSさんへの特別な配慮をお願いします。
経過資料と参考資料を添えます。…………… 2015.6.9 平谷美智夫

知的水準は十分に高く、小学校までは本人の努力、ご家族・担任・クリニックの支援でそれなりの成績も残すことができましたが、努力にも限界があり、中学では【成績？】が下位に低迷、高校進学が難しい状況です。現在の【成績？】は彼女の教科理解を反映していません。DDでは読字・書字ともに障害されます。理解度を彼女の最も苦手な読み・書きで評価する方法が間違っていることは科学的に明らかです。当クリニックで診断された250例近いDD児童の多くは理不尽な評価方法(試験のやり方)で潰されています。

Sさんへのこれまでの支援は現在の日本では最高レベルであると自負しています。大学入試で認められた特別な配慮を高校入試で彼女に認められるよう最大限の努力を払っていただきたく切にお願いします。これは基本的人権であると認識しています。

学力テスト結果が悪く推薦危うくなり診断書提出

Sさんの**特別な配慮**を**再度**お願いします

・平成27年6月9日付けで、添付の診断書を提出しました。保護者から第一志望校(A高校デザイン科)の学内推薦をもらえそうとの喜びの報告をいただき、当方も喜んでおりました。ところが、本日、お母様から、“直近の学力テスト結果が悪くB高校への推薦を示唆された”との報告をいただきました

・Sさんはすでにデザインの専門家の個人指導も受けておられます。読み書きが苦手で、前向きに生きてゆく人に向いている仕事の一つです。H高校では彼女のデザインの勉強の機会を奪い、将来性ある一人の生徒の芽を摘んでしまうのではと憂慮します。**特別な配慮は決して不公平なものではない**と
思っています。特別支援教育の趣旨は児童生徒の自立支援が目的であるはずです。これまでの御本人・御家族・幼稚園～小学校時代の先生方・医療関係者の**努力が最後の出口で報われる様な進路指導・支援を切に**お願いします。2016.2 平谷

H27.2.12 志望校への推薦決定

診断書：学力テスト結果が芳しくなく 推薦が危うくなり提出

- デイスレクシア(DD) + ADHDで通院・療育指導を受けてこられた〇〇さんへの特別な配慮につきまして、再度特別な配慮をお願いします
- 平成27年6月9日付けで、学内の会議における資料として添付の診断書を提出いたしました。しばらくして、保護者から高校進学に当たって、第一志望校(〇〇高校〇〇学科)への学内推薦をもらえそうとの喜びの報告をいただき、当方も喜んでおりました。ところが、本日、お母様から、“最近の学力診断テストの結果が芳しくないので、〇〇高校への推薦を示唆された”との報告をいただきました
- 〇〇さんは、デザインの勉強がしたい(読み書きが苦手で、前向きに生きてゆく人に向いている仕事の一つ)と、現在すでにデザインの専門家の個人指導も受けておられます。〇〇高校では彼女がデザインの勉強の機会を奪い、将来性のある一人の生徒の芽を摘んでしまう結果になるのではと憂慮します。特別な配慮は決して不公平な配慮ではないと思っています。特別支援教育の趣旨は児童生徒の自立支援が目的であるはずです。これまでの御本人・御家族・幼稚園～小学校時代の先生方・医療関係者の努力が最後の出口で報われる様な進路指導・支援を切にお願いします。

H27.2.12 志望校への推薦決定

書字障害・算数障害を合併した アスペルガー障害男児：読みは完璧

1：漢字の読みテスト(11問中10問正解)

草履 雪崩 百合 日和 五月雨

姑獲鳥 流石 八百長 数珠 抽斗

玄人 ← (読めなかった文字)

2：エンピツ：なまりのふで と書くんだよ

さみだれ：ごがつのあめ と書くんだよ

(と まで言えるのに書けない)

ADHD併存DD:コンサータがよく効いた10歳男子

稲垣式音読検査結果分析 音読時間延長 読み誤りなし

				同学年平均	標準偏差	
単音	音読時間	53.8	秒	27.2±6.2	4.3	SD
	読み誤り	0	個	1.1±1.5	-0.7	SD
有意味語	音読時間	39.1	秒	20.5±5.4	3.4	SD
	読み誤り	1	個	0.2±0.4	2	SD
無意味語	音読時間	59.9	秒	40.3±9.8	2	SD
	読み誤り	2	個	1.7±1.8	0.2	SD
単文 音読時間	合計	14.8	秒	9.5±2.0	2.7	SD
	読み誤り	0	個	0.5±0.6	-0.8	SD

ディレクシア+ADHD 男児 8:7

流暢性・正確性ともに低下

			同学年平均	標準偏差
単音	音読時間	36.7秒	32.8±7.7	0.5SD
	読み誤り	7個	1.1±1.2	4.9SD
有意味語	音読時間	54.7秒	24.8±4.3	7SD
	読み誤り	3個	0.3±0.5	5.4SD
無意味語	音読時間	70.3秒	49.0±10.8	2SD
	読み誤り	6個	1.5±1.7	2.6SD
単文音読時間	合計	23 秒	13.0±2.5	4SD
(3文)	読み誤り	1個	0.3±0.5	1.4SD

乳児期より療育を受け、就学後DD診断が加わった症例の検討(20/224例:男児18/187女児2/37)

巨田・川谷・平谷他 2026.6.7 52日本小児神経学会

初診時診断の内容			人数		割合	
ADHD	ADDI(不注意優勢型)		1	5	5%	25%
	ADDC(混合型)		2		10%	
	ADHD疑い		2		10%	
ASD				3		15%
ADHD	ADDI	+ASD	3	10	15%	50%
	ADDC		5		25%	
	ADHD疑い		2		10%	
受容・表出性言語発達遅滞				2		10%
合計				20		100%

書字障害・算数障害を合併した アスペルガー障害男子例

字を全く書かない
(試験はすべて白紙)

→書字障害の機序は？

VIQ=114 PIQ=114 FIQ=115

書字障害・算数障害を合併した アスペルガー障害男児：読みは完璧

1：漢字の読みテスト(11問中10問正解)

草履 雪崩 百合 日和 五月雨

姑獲鳥 流石 八百長 数珠 抽斗 玄

人 ← (読めなかった文字)

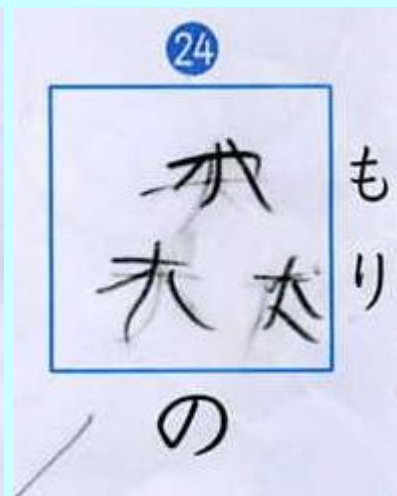
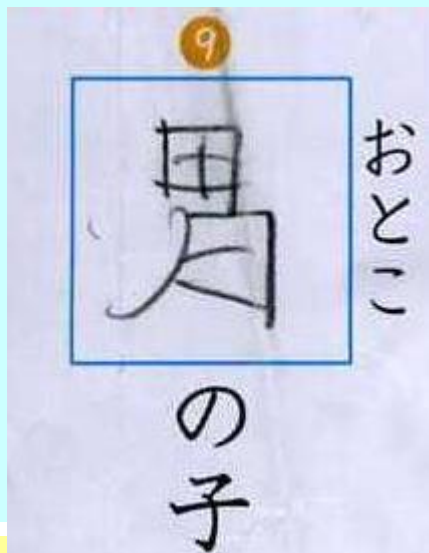
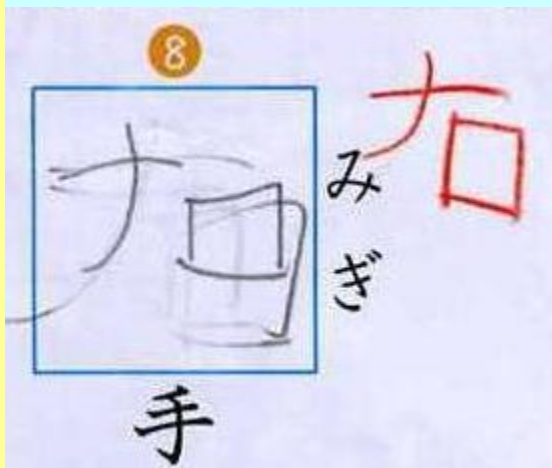
2：エンピツ：なまりのふで と書くんだよ

さみだれ：ごがつのあめ と書くんだよ

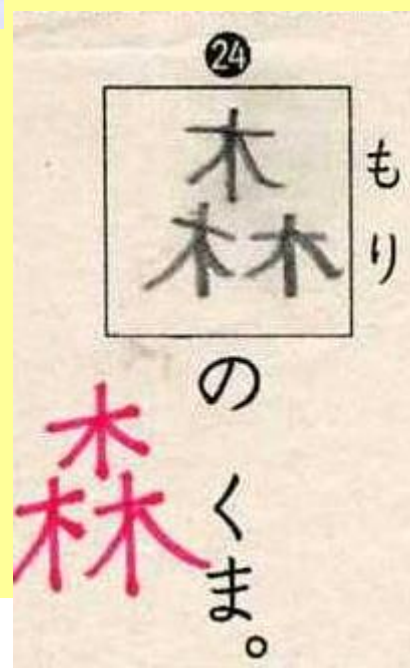
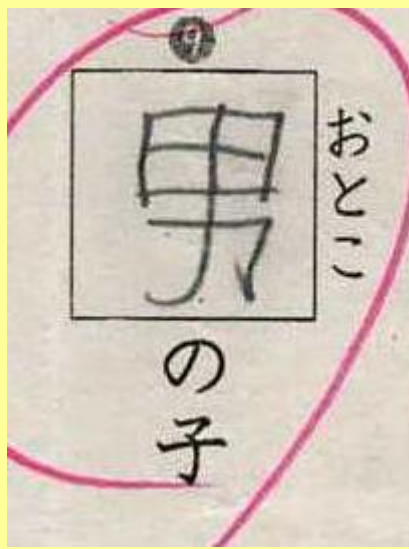
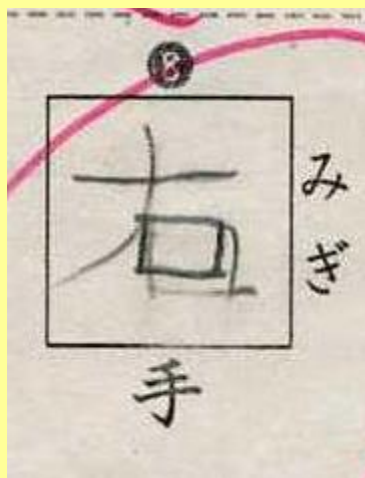
(と まで言えるのに書けない)

書字がMPHにより著明に改善した書字障害＋ADDC ＋視空間認知障害疑いの男児

MPH投与前



MPH投与後



おしり・よくがんばったよ。

とっててもいいねいな字です。

